春の叙勲

おめでとうございます

長年の消防活動を評価

冥賀宏忠さんに瑞宝単光章

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人たちを表彰する「春の叙勲」が、4月29日、内閣府から発表され、日野町からは冥賀宏忠さん（根雨）が瑞宝単光章を受章されました。この叙勲は、冥賀さんの長年にわたる消防活動への功績が高く評価されたものです。

冥賀さんは、昭和37年に町消防団へ入団後、第1分団長、副団長を務め、昭和63年から平成8年までの間、団長として活躍、数々の消火活動や災害予防に尽力されました。また、住民の安全な暮らしを守ってきた姿は、他の消防団員の模範となっています。

現在は町の消防委員を務めている冥賀さん

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

高齢者の交通安全を学ぶ

安井栄寿会総会

津地・安原地区の老人クラブ、「安井栄寿会（山田芳美会長）の第41回定期総会が、4月15日、津地自治会館で開かれ、20人の会員が出席しました。

総会に先立ち、黒坂警察署の高橋交通係長が、高齢者の交通安全について講演し、「県内の交通事故の犠牲者の半分以上が高齢者です。自動車から姿がよく見えるよう、行動は明るいうちに行い、また夜間外出するときは反射材を身につけるようにしましょう」などと呼びかけました。

総会の中で山田会長は、「今年度は会員を増やす活動や、町の筋力アップ教室の開催など様々な事業も行っていきたい」と語りました。

総会の後には懇親会が行われ、食事をしながら会員同士の親睦を深めました。

「車に乗ったときは、後部座席でもなるべくシートベルトを」と語る高橋さん

澄んだ音色が響き渡る

大正琴「瞳の会」演奏会

県西部で活動している大正琴グループ「琴名流大正琴瞳（ひとみ）の会（植木正枝会長）」の演奏会が、4月16日、町文化センターで開かれました。

二年に一度開かれるこの演奏会には、町内はもちろん、日野郡、西伯郡の各教室から約50人が出演、クラシックやポピュラー、演歌など約30曲を演奏しました。

また、「ふるさと」「早春賦」などの四季の叙情歌を演奏し、背景に四季の景色の写真とその歌詞を映し出して客席と一緒に歌うという、初めての試みもあり、訪れた聴衆は、大正琴が生み出す清涼感あふれる音色に聞き入っていました。

舞台に勢ぞろい、練習の成果を披露

訓練の成果を発揮

町消防ポンプ操法審査会

消防団員の技術の向上を図るため、町消防ポンプ操法審査会が、4月23日、ひのっこ保育所駐車場で開かれました。

審査会は、4人1組の団員が消防ポンプ車を使い、あらかじめ設定してある火点（標的）に向けて放水し、それを終了するまでの一連の動作の正確さ、機敏さや所要時間などを競うもので、各分団から1組ずつの選手が出場しました。

選手たちは、日頃から訓練を重ねてきた成果を発揮、きびきびとした動きで、正確な操法を披露しました。

江府消防署員による審査の結果、第1分団が1位となり、7月2日、米子市で開かれる県西部消防ポンプ操法大会への出場が決まりました。

住民の生命・財産を守る基本

誰もが輝いて生きていくために

男女共同参画講演会

男女が共にいきいきと暮らせる社会づくりを目指して、郡男女共同参画連絡会（佐々木周子会長）主催の講演会が、4月16日、開発センターで開かれました。

今回は、県人権文化センター客員研究員の金香百合（きむかゆり）さんを講師に迎え、「ひとが輝く・まちが輝く～男らしさ・女らしさの病からの解放～」をテーマに講演が行われました。

講演の中で金さんは、在日3世として生まれた生い立ちや、ジェンダー（社会的性別）の解説などを通して、男らしさ・女らしさにとらわれず、自分らしく輝いて生きていくことの大切さを語り、集まった参加者は、金さんの熱い思いにうなずきながら聞き入っていました。

表情豊かに思いを語る金さん